蔵王嶽 広報

かじき

No.377 昭和61年3月号

発行 加治木町
編集 総務課

桃の花

桃の花といえば、まず連想するのが三月三日の雛祭り。

この日は『桃の節句』ともいい、桃の花を飾り、白酒で祝います。

日本では、花といえば〝桜〟が代表的ですが、中国では、花というと〝桃〟か〝ぼたん〟を指すそうです。中国で美しい装いを〝桃李の装い〟といったり、平和な別天地を〝桃源郷〟といったりするのもこうしたことからです。

ところで、三月三日は『耳の日』でもあります。この日が耳の日と決められたのは三三がみみと読めること、またこの日が、聾唖研究に尽くしたグラハム・ベルの誕生日でもあるためです。

おひな様を飾って……（新生町の西　邦光さん宅で）

◈人口23,308人（＋5）男10,957人（−10）女12,351人（＋15）世帯数 7,882（±0）61.2.1現在（　）前月比

『錦江駅』が 3月3日 開業

＝上下45本が停車＝

東 國雄町長がテープ・カット（開業式）

国鉄日豊本線の加治木駅と帖佐駅のほぼ中間にあたる新生町に「錦江駅」が新設され、三月三日町や鹿児島鉄道管理局、県住宅供給公社の関係者や来賓など約八十人が出席して開業式が行われました。

「錦江駅」は旅客専用の無人駅で、特急と快速やたけ号を除き一日上下四十五本が停車することになっており当面、約千人の乗降客を見込んでいます。

町勢発展に大きく寄与

町では、加治木団地の分譲などによって人口が急増している木田地区の交通の利便を図るため、五十一年にも〝新駅設置〟を請願しましたが実現しませんでした。

鹿児島鉄道管理局は昨年六月、鹿児島都市圏に、日豊線四、鹿児島線一、指宿線四の計九つの新駅設置が可能であるとの構想を打ち出し、地元負担を原則に〝新駅設置〟を認める考えを示しました。

このため、町では昨年九月に県住宅供給公社とともに改めて請願を出し、昨年十二月十九日国鉄本社から新駅設置の承認を受け、実現の運びとなったものです。

鹿児島県内の新駅設置は、昭和四十一年十月一日に新設された指宿線の坂之上駅以来のことです。

向江助役は「町の人口は将来、網掛川以西を中心に増加するものと思われるので、錦江駅は町勢発展に大きく寄与するものと期待しています」と語りました。

自転車置場などを整備

錦江駅は、加治木駅から西側へ一・七キロ離れた国道十号線の跨線橋近くの新生町に設置され、ホームと上屋の工事費二千百九十万円は県住宅供給公社が、また、トイレや駐輪場（自転車置場・約五十台）など駅に付属する施設の工事費三百八十万円は、町と県住宅供給公社が負担し整備されました。

また、ホームが片側一面のため日豊線の南側からの乗降客は、国道十号線の跨線橋を利用してもらうことにしています。

錦江駅のホームは、六両編成の列車が停車できるよう設計され、幅二メートル、長さは百三十メートル。中央には「安くて軽快、近代的なものを」と、六十メートルのブラウンスモーク色を基調とした合成樹脂板を使ったモダンな鉄骨平屋建ての上屋が設けられています。

東町長がテープ・カット

開業式は三月三日、約八十人が参加して錦江駅で行われ、東町長や、県住宅供給公社、鹿児島鉄道管理局などの関係者が、テープ・カットを行い開業を祝いました。

また、十時二十八分には「錦江号（快速）」が停車。開業を記念して乗務員に花束が贈られた後、下猶篤男町議会議長が右手を上げ「出発の合図」を行い列車がホームを離れると、式典の出席者から盛んな拍手が沸いていました。

国民年金の保険料が四月から変わります

国民年金の給付費は、消費者物価指数が変動した時それを基準に改正されます。国民年金の健全な財政を保つため、年金額の引き上げに伴い保険料も四月から次のとおり改定されます。

■定額保険料……七、一〇〇円

■付加保険料……七、五〇〇円

〔六十一年度分保険料の前納〕

四月に六十二年三月までの一年間分をまとめて納めますと、保険料が割り引かれます。

前納できる期間

四月一日から四月三十日まで

割り引かれる保険料は……。

■定額保険料（二、〇六〇円）八五、二〇〇円→八三、一四〇円

■付加保険料（二、一八〇円）九〇、〇〇〇円→八七、八二〇円

保険料は必ず期限内に納めましょう。

※ 生活が苦しくて保険料を納められない人については、保険料の納付を免除する制度もあります。詳しくは住民課・国民年金係へお尋ねください。

記念乗車券を発行

表面は「錦江駅」の絵

鹿児島鉄道管理局では、錦江駅の開業を記念し、三種類の記念乗車券を発行しました。

記念乗車券には、表面に錦江駅が描かれており、裏面には錦江駅の由来が記されています。

効率的な町政運営をめざし

町行政改革大綱を策定

町では、厳しい行財政環境の中で、多様化する行政需要に対応しつつ効率的な町政運営を進めるため、町民の代表十人からなる町行政改革推進委員会の答申を得て、「町行政改革大綱」を一月十三日、行政改革推進本部員会（本部長・東町長）で策定しました。

全庁が一体となって取り組むとともに、町民をはじめ関係方面の理解と協力が得られるよう努める。

《当面の措置事項》

(一) 事務事業の見直し

①町営公衆浴場を廃止する。
▽　町営公衆浴場は、現在まで多額の一般財源をつぎ込んでおり、また、建物や設備も老朽化し、肝心の泉源が確保できない状況にあるので廃止する。

②指定金融機関を設置する。
▽　指定金融機関制度の実施を行い、公金取扱いの迅速化、事故防止、経費節減、収納窓口の拡大を図る。

③伝票会計に切り替える。
▽　重複的記帳事務及び誤記防止、帳票類等簡素化のため、伝票会計に切り替える。
（六十一年度）

④使用料・手数料の改定を行う。
▽　郡内の各種協議会において検討のうえ改定を行う。

⑤住宅使用料の改定を行う。
（六十年度実施済）

⑥各種団体（福祉団体を除く）に対する運営費補助を一割カットする。（六十年度実施済）

(二) 給与の適正化

①給与の適正化を図る。

(三) 民間委託・OA化等事務改革の推進

①農山村保育所管理を社会福祉協議会に委託する。
▽　農山村保育所（永原）は、定数五十九人に対し、現在三十人を割る状況で、県の補助率も低く、社会福祉協議会に管理を委託し、経費節減を図る。

②電算業務の導入を図る。
▽　住民基本台帳をベースとした全庁システムの導入を図り、住民サービスの向上、行政事務の近代化、事務事業の軽減を図る。

③固定資産名寄台帳のマイクロフィルム収納化を図る。
▽　名寄台帳をマイクロフィルムに収録し、保存を図る。

④ワード・プロセッサの導入推進を図る。
▽　文書の効率化を図るため、ワード・プロセッサの導入推進を図る。

■（　）内は実施予定年度

町行政改革推進委員

福村厚行、岩田一郎、栄義雄、福元岩雄、後藤和義、今森實、兼田勝久、吉薗清、神田貞豊、市来原盛五（敬称略・順不同）

行政改革の基本方針

七回の審議を重ね答申

町行革推進委員会

町行政改革推進委員会（福村厚行会長）では、昨年九月十二日町長から諮問された四項目の行政の事務改善策について七回の審議を重ね、十二月十日答申しました。

町では、答申を尊重し、今後この行政改革大綱に基づき地域社会の活性化及び住民福祉の増進を図るため、引き続き行政改革を推進することにしています。

◇　◇　◇　◇　◇

(一)　加治木町を取りまく、厳しい行財政環境の中で、多様化する行政需要に対応しつつ、地域社会の活性化及び住民福祉の増進を進めるため、引き続き行政改革を強力に推進する。

(二)　行政改革の推進に当たっては「加治木町行政改革推進委員会」の答申を尊重し、議会と連携しつつ、

お母さんしっかり

お茶の水女子大学教授
附属幼稚園園長
外山　滋比古

お母さんの味

幼稚園でお弁当の時間になりました。みんな仲良く弁当を開きました。隣り同士の子の中身が同じです。おもしろがって比べてみると、一つも違ったものがありません。

子供が無邪気に先生に報告します。

「ボクのお弁当、キクちゃんのと全部同じッ」

先生はしかたなく、

「それはよかったわネ」と、笑って答えましたが、これが偶然の一致なんかではないことはよくご存じです。

弁当屋さんで詰めてもらってきたのです。さすがにお店の容器では気がひけるのでしょう。子供の弁当箱を持って行って、それに入れてもらいます。

いかにもうちで作ったような顔をして子供に持たせます。

幼稚園で入れ物は違っても中身は同じ、という弁当が増えたのはここ数年のことです。

先生たちは困った手抜きだと思いながらもなかなか、お母さんに注意しかねています。

それというのも、今は園児が足りないでどこの幼稚園も困っているからです。お母さんのご機嫌を損じて子供をよそへ移されたらどうしよう、と心配して、言うべきことも遠慮しているのです。

お母さんの方ではその足もとを見て、幼稚園に給食をしてくれと注文をつけます。それで給食を始めたところがあちこちに現われています。

どうもお母さん方は、お弁当づくりがお嫌いのようです。

手間がかかって面倒、ほかの子の弁当と比べて見劣りしたらいや、など理由はさまざまでも、とにかく作りたくないと思っているお母さんが多いようです。

母と子のつながりはまず、授乳ですが、少し大きくなったら、お母さんの手作りの家庭料理がものいわぬコミュニケーションの綱になります。

大人になってからも〝おふくろの味〟を懐かしがるのはそのため。今の子に〝おふくろの味〟は出来るのでしょうか。

志を立てけじめのある生活を

西浦と端山で立志の集い

十四歳になった子供たちの成長を祝う〝立志の集い〟が、西浦地区と端山自治会で行われました。

西浦地区（猪目喜年公民館長）では二月八日、山口正一くんと田中睦美さん、犬童みゆきさんの三人が、立志のともしびを囲み「私たちは、将来進むべき道をはっきり定め、その実現のために努力します」と立志の誓いを立てました。

また、端山地区（内田薫自治会長）では二月十五日、父母らが見守る中、松田隆子さんや林東洋一くん、井上誠くん、松村清子さんの四人が、自覚・立志・健康の三つのともしびを手に、立志の誓いを立てました。

立志の集いでは柁城小学校の安田隆文校長が「青少年に期待する」と題して「立志を迎えたみなさんは、大人への準備を始める時期だといってもいいと思います。立志の日を境にして、志を立てもっとけじめのある生活をして欲しい。

あと十五年で二十一世紀を迎えます。二十一世紀にはみなさんたちが日本の社会を背負っていかなければなりません。二十一世紀を生きぬくために、自分で自分をしかることのできる人間に、また、他人への思いやりの心を持った人間になってください。人間の値打ちは現在がどんな状態にあるかによって決まるのではなく、これからどう生きてゆこうとしているのか、そのためにどう努力しているかで決まります」と講演し、立志者を激励しました。

立志の誓いを立てる（端山）

立志の灯を囲んで（西浦）

鈴懸け馬踊りを特訓

木田地区壮年会

春を呼ぶ鹿児島神宮の初午祭が三月三日行われ、木田地区のご神馬を先頭に十二頭が鈴懸馬踊りを披露しました。

木田地区のご神馬は、岩崎郷二さん所有のあけ三歳馬で、美しい尾花栗毛の「利勝」号。初出場で、木田の壮年会（楠本洋一会長）によって一月二十六日から特訓が毎日夕方行われました。

特訓は、割った青竹を持った壮年会員が馬の足下をたたき雑音をつくりながら、太鼓とカネの音、馬踊りの歌に合わせ、馬の四つの足がマンボのリズムを刻むように訓練するもので「最初は青竹で馬をたたき、何本も竹が割れた」と言うほどの厳しいものでした。

人馬一体となって

タカンバッチョ（竹皮笠）の電話ボックスが完成

岡園高公

町民の憩いの場である高岡公園の入口に、郷土民具のタカンバッチョ（竹皮笠）をまねた屋根のある一風変わった電話ボックスが、三月二十五日完成しました。

これは、町内外から高岡公園を訪れる人たちに加治木町をピー・アールしようと、タカンバッチョの形を屋根に取り入れたもので、直径が三・六メートルの鋼板ぶきです。

電話機の置かれている所は、一辺が一・一メートルの六角形で、中は広く、入口は中折戸で、車いすの人でも自由に利用できるように設計されています。

ユニークな電話ボックス

北方領土返還要求運動

キャラバン隊が来町

「北方領土の日」を前にした二月六日、「北方四島の早期返還を求める国民世論を盛り上げよう」と北方領土返還要求運動鹿児島県民会議のキャラバン隊が本町を訪れ、向江助役に総務庁長官と県民会議の原田健二郎会長からのメッセージを伝達しました。

北方領土返還要求県民会議は、五十七年十一月に結成され、これまでパネル展や署名活動など啓発活動を進めており、さらに県民の意識を盛り上げるため県内キャラバンを実施したものです。

向江助役は「北方領土問題は国民的課題です。県民世論をさらに喚起し、要求実現のため努力して欲しい」と語り、早期返還を求める八十人の署名を手渡しました。

メッセージを受ける向江助役

塩分のとりすぎも高血圧の原因

第五回　町健康づくり推進大会

「みんなで考えよう、見つめよう自分の健康」をテーマに、第五回町健康づくり推進大会が二月十五日、婦人やお年寄りなど百人あまりが参加して保健センターで開催されました。

表彰を受けた東さん、永田さん、野元さん

大会では、これまで栄養改善推進員として長年にわたり食生活の改善に努め、町民の健康づくりに寄与されてきた永田フヂさん、東豊子さん、野元道子さんの三人に表彰状が贈られました。

また、大井千尋先生が「脳卒中予防と管理」と題して「脳卒中は高血圧症が原因で起こることが一番多い。高血圧症にならないためには、ストレスを少なくし、肥満を防止しましょう。また、塩分の取りすぎも高血圧症の原因となります。一日十グラム以下におさえましょう」と講演しました。

会場では、健康パネル展や健康相談も行われ、また、昼食は参加者全員で、塩分をひかえた成人病予防食を試食しました。

世界の平和と祖国の発展を願う

建国記念の日奉祝行事

日の丸の小旗を手に

世界の平和と祖国の発展を願う「建国記念の日」の二月十一日、護国神社で奉祝行事が行われました。

式典には、約八十人が参加。奉祝の後、日の丸の小旗を手に目抜き通りを行進し、建国の日を祝いました。

2月に2.7キロのジャンボ竹の子を採取

藤野国明さん（石野）

小山田・石野の藤野国明さんの竹林で二月十二日、二・七キロもある竹の子がとれました。

これは、奥さんの洋子さんが見つけたもので「二月にこれほど大きな竹の子がとれたのは初めてですネ」と藤野さん自身も驚いた様子で語りました。

藤野さんは、昭和四十年から雑木の山五十アールを竹林に改良し、鶏ふんやたい肥を入れて土づくりに努めており、昭和五十七年生から六十年生までの各年代ごとの竹一千本が整然と植えられています。

藤野さんの竹林は、今年の県林業技術競技会で最優秀に選ばれ、二月二十一日表彰を受けました。

2.7キロの竹の子と藤野さん

ボランティアは人間を大切にする活動

町ボランティアのつどい

町ボランティアのつどいが二月三日、福祉センターで開催され、地域で活動を進めている百人あまりが出席し、交流を行いました。

講演する小倉先生

ボランティア講座では、小倉永人先生が「ボランティアの心」と題して「ボランティアとは、人間にしかできない人間を大切にする活動です。いつでも、どこでも、だれでもできる活動です。暇な時に、社会のためになることを実践しましょう」と講演した後、レクリエーションの指導を行いました。

また、民生委員婦人部の前田幹子さんが、婦人部で毎年取り組んでいる「在宅ねたきり老人慰問事業」について発表したほか、コアラ会による大正琴の演奏も披露されました。

お互いを知り合おうと交流会

加治木工業高校　加治木養護学校

加治木工業高校の生徒会（松田広行会長）とPTA（松田士郎会長）では「お互いを知り合おう」と毎年、加治木養護学校と交流学習会を開催しており、今年も二月二十一日、生徒や父母約二十人が加治木養護学校を訪れました。

この日は、加治木工業高校の吹奏楽部（島田光宏部長、部員十一人）の演奏と、加治木養護学校の生徒によるすばらしいリコーダーの演奏が披露され、会場からは盛んな拍手が沸いていました。

演奏会の後、加治木工業高校PTAが、新入生の父母から寄せられた入学献金を、また、生徒会が工業祭でのバザーの収益金などを森一仁生徒会長（高等部三年）に贈り激励しました。

すばらしい演奏を披露

柁城Ａチームが優勝

町内サッカー大会

町内サッカー大会が二月二十三日、町営グラウンドで行われ十七チームが参加し熱戦を展開しました。

結果は次のとおりです。

▽**小学生の部**
優勝…柁城Ａ
二位…錦江Ａ
三位…柁城Ｂ

▽**一般の部**
優勝…加治木工業高校Ａ
二位…加治木クラブ
三位…ラコステ

それ、シュート

家庭婦人は今薗チームが優勝

町卓球大会

▽**高校生の部**
優勝…加治木中ＯＢチーム
二位…加治木工業高校Ｂ
三位…つばさ君チーム

鋭いスマッシュ

町卓球大会が二月二十三日、町営体育館で行われ、家庭婦人など二十三チームが参加しました。

結果は次のとおりです。

団体戦

〔中学の部〕**優勝**加治木中Ｂ▽**二位**加治木中Ａ▽**三位**加治木中Ｃ

〔高校の部〕**優勝**加治木高校Ａ▽**二位**加治木工業Ａ▽**三位**加治木高校Ｂ・加治木工業Ｂ

〔一般の部〕**優勝**加治木クラブ▽**二位**中原チーム▽**三位**福士チーム

〔家庭婦人の部〕**優勝**今薗チーム▽**二位**木藤チーム▽**三位**向江チーム・西迫チーム

歴史の旅 9

獺貫切貫（うそぬききりぬき）を訪ねて（その二）

池田助右エ門は、獺貫切貫を上下より掘削したのですが、上段からの作業は水はたまり、掘った石を運び出す苦労は言語に尽くせぬものがありました。

「ことぼし」（明かり）の油煙で眼は充血し、なかんずく顔面蒼白（そうはく）、身体は疲労困ぱい。なおもひるまず、今日もまたもくもくと……。

然れども、こえて寛文三年三月十八日、桜の花もほころび、咲き舞う朝まだき上下のずい道画然として貫通せり。

池田翁神仏の御加護に感謝し、ひざまずき血涙とどめなくあふれいで、男泣きにすすり泣く声。

今も現地にたたずめば水の流れに聞こえてくるようです。

実に、三年八か月の月日を数えたのです。

長さ百二十間（約二百十八㍍）幅四尺（約一・二㍍）、水深三尺（約一㍍）で、一日に約五寸（約十五㌢）ぐらいの進行であり、いかに難工事であったか想像されます。

上下の食い違いはなく、ただ真ん中辺りで段差があります。偶然に違ったのか、水圧を弱めるためか、後記が正しいとすれば大変土木工法のたんのうな人です。こう配が急で、真ん中で水圧を下げないと、とても用水路取口が滝つぼになり取水は不可能です。現在も昔のまま現存しているところをみると後記が正しいと解釈すべきでしょう。

池田助右エ門は、領主より褒賞として禄高五十石を与えられました。当時、加治木で五十石以上は二十六人で、いかに褒めたたえたかがわかります。

池田助右エ門は、五十石のうち十石を万年山融峯寺（ゆうほうじ）（西ノ原花卒礼宅）に夫婦のぼだい料として寄進しました。しかしながら残念なことに今だに子孫や墓が見当りません。

本人の遺言で「末代残るは切貫のみ」池田翁の本音かと察します。

融峯寺は、長年寺の末寺で、融峯大和尚が万治二年正月建立した寺で、獺貫切貫着工の年と同じです。亀墓の下で中年以上の人は、名字より「ゆふつ」の誰さん、と呼びます。

切貫貫通用水の水路は一里三合（四・九キロ）で、小脇より五老峰のあしを流れて今日も田園に朝日輝やく。（次号につづく）

（筆者　上木田　吉村次男）

獺貫の滝

用水路の一部

Aクラスは近藤・前野組が優勝

町バドミントン大会

町バドミントン大会は、四十一組・八十二人が参加して二月二十三日、加治木高校体育館で行われAクラスでは近藤・前野組が、またBクラスでは石田・中目組が優勝しました。

結果は次のとおりです。

〔Aクラス〕**優勝**近藤・前野組（加治木高校生）▽**二位**永田・新山組（加治木保健所）▽**三位**木藤・星原組（加治木高校生）

〔Bクラス〕**優勝**石田・中目組（加治木保健所）▽**二位**宮原・末広組（加治木保健所）▽**三位**白濱・黒木組（町バドミントン同好会）

これで決まるか

春の青少年を育てる運動

3月11日から4月10日

春は入学、卒業、就職など青少年にとって特に大事な時期です。

「春の青少年を育てる運動」（三月十一日から四月十日）は、青少年が新しい生活環境の中で自立自興の精神を養うとともに互いに手を取り合い、自分たちの目標に向かって明るく、たくましく伸びるよう、地域ぐるみで青少年を育てようとするものです。

〔**運動の推進事項**〕

一、青少年自立自興運動を積極的にすすめましょう。

二、明るい健全な家庭づくりに努めましょう。

三、生徒指導の充実に努めましょう。

四、青少年の非行や事故を防止しましょう。

五、健全な社会環境づくりに努めましょう。

シンナー等の乱用を防止

接着剤

また、三月十一日から四月十日まで「シンナー・接着剤等乱用防止強調月間」です。

シンナー、接着剤等の乱用者は依然として増加傾向にあります。

特に乱用者の大部分は中・高校生を含む青少年層であり、しかもこれら乱用青少年による凶悪な犯罪や悲惨な事故が発生するなど、事態は極めて憂慮すべき状況で、青少年健全育成の面からも重大な社会問題となっています。

シンナー・接着剤等の乱用を地域のみんなで勇気をもってやめさせましょう。

薬草 知られざる効き目 ㉚

ウド

独活掘りの
またつかまえぬ兎の子
月二郎

三月、彼岸を過ぎるとウドが芽生える。陽気にさそわれて野兎が若草の芽を楽しんでいます。

ウドは、ウコギ科の大形の多年生草本で、松やにに似た特有の芳香があり、淡白でかすかな甘味を含む、日本人だけが知る独特の山菜であります。

北海道から九州、東アジア各地に分布、日当りの良い山野の荒れ地に自生する。栽培は三百年の歴史があるが、やはり山野に自生するものにははるかに及ばない。

ウドはむかしから、刺身のつま、吸い物、酢の物、煮物、味噌漬け、味噌汁など日本料理に活用された。

あくが強いので、皮をむいたら酢を加えた水に晒すこと。一層白さがましてくる。これを刺身のつまにし、酢しょうゆで食べてもよい。味噌をまぶして一夜漬けにし煮物や天ぷらにして食膳に供する。

若葉もやはり同様に使うが、朝の味噌汁にするのが最高、大自然のだいご味をたっぷり味わえる。

むいた皮と葉は細くきざみ、キンピラにすると、また楽しめる。

皮をむいて、味噌に酒を加えてゆるめた床に、五、六日漬けこんでおく。薄く切って酒のさかなにすると、二、三杯はよけいにすすむ。

漢方では、ウドの根を乾燥し、独活と称し、解熱・強壮薬とする。

ウドの美味につられて食べ過ぎないこと。のぼせて口中がたれたり血圧が上がることがあります。

君がくれし
独活を酢に和え今日食はむ
山国の春
偲ぶよすがに　松村英一

（筆者　県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

竜門の会

池の面に日の斑を刷きて冬の蝌蚪　内田美津代

枯葦や湖畔のボート伏せしまま　川上　節子

温む水濁さぬ鷺の歩みかな　横山　江南

冠雪の島毅然たり千鳥翔つ　井之上透山

下萌や緋のうちかけの宮参り　川崎　黒兎

かく生きて節分の豆拾ひけり　佐々木かすみ

弾初めの撥の勇みも角力節　古江　重美

噴煙も甍も眩し冬うらら　鶴田　耕

風に乗る野火は猛りて竜となる　高木　正男

沈丁の日を吸ひ蕾育てけり　加藤　白柳

春嶺の裾野をよぎる送電線　竹山　洋子

路地めぐる三輪車の音春隣　柳田　稔

夕空に眉月かかげ風寒し　上野　光

お知らせ

作業中の事故に備える
農林業労働者災害共済

町農林業労働者災害共済制度も発足以来五年を経過しようとしています。

この五年間、農家のかたがたの自主的加入により年々加入者数も増えていますが、最近、農機具などによる大きな災害も増加しており、共済見舞金の支払額が加入掛金を上回る状態にあります。

農家の皆さん。農林作業中の事故には十分気をつけましょう。

万一に備え「町農林業労働者災害共済」に全員加入しましょう。

お問い合わせは、役場・経済課（電話六二一―二一一一）へどうぞ。

対象者
加治木町民で、農林業に従事する人

共済期間
昭和六十一年四月一日から昭和六十二年三月三十一日まで

共済掛金
一世帯当たり……五百円
農林作業従事者
一人当たり……四百円

加入受付期間
二月一日から三月三十一日

水道料金のお支払いは
便利な“口座振替制度”

水道料金のお支払いは、便利な『口座振替』制度をご利用ください。

口座振替制度は、金融機関の預金口座から、あなたにかわって直接水道料金を支払える制度です。

お申し込みは次の金融機関の窓口に「最近支払った水道料金の領収書」と「印鑑（届け出印）」を持参の上、お申し込みください。

取扱い金融機関（郵便局を除く）
鹿児島銀行▽鹿児島相互信用金庫▽鹿児島信用金庫▽姶良信用組合▽旭相互銀行▽加治木町農業協同組合▽鹿児島県労働金庫

安い掛金で大きな保障
交通災害共済

交通災害共済は、町民がお金を出し合って、不幸にして交通災害にあった人を助け合う制度です。

万一に備え、家族ぐるみで加入しましょう。

掛金　年間一人　三百六十円

共済期間
昭和六十一年四月一日から昭和六十二年三月三十一日まで

見舞金の額　一等級（死亡の場合）百万円から、九等級（治療実日数七日以上十五日未満の傷害）一万五千円まで傷害に応じて支給されます。

◎加入申し込みは、役場・住民課の窓口へどうぞ。

うぶ声

出生児	保護者	自治会
古鉄あゆみ	講治	蔵王団地
吉村　亜紀	正和	里ノ下
平良　好裕	道明	赤坂
成松　美香	一人	岩原東
有馬　睦美	道雄	弥勒
木佐貫知子	博孝	蔵王団地
江口のぞみ	仁志	萩原
京田　翔平	治美	赤坂
德部　愛	健一	西諏訪
北野　嘉奈	良夫	蔵王団地
有元　佳菜	勇	春日団地
上薗　麻実	和良	空港団地
福島　亜祐	八十一	柳田
山元　未貴	久夫	西江口団地
市来　珠美	精	萩原
白尾　誠	フク子	竹下
種子田圭佑	実	吉原
大内山佳那	伸一	豊町
古田　康浩	悟	高井田
堂免　春香	良久	吉原

▽二月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　柳田　黒田伊熊（妻スミ八〇）
十万円　蒲生田(1)　有馬タミ（夫正男八四）
三万円　鶴原　田代礼子（夫俊夫六四）
二万円　里ノ上　上小牧ナツエ（母モト九六）
三万円　辺川中　汰木綾子（夫清治七九）
三万円　垂ノ口　酒匂利男（母トメ八三）
二万円　岩原東　宮田一男（母アサ九五）
三万円　楠園　三反春子（夫學六九）
二万円　菖蒲谷上　新繁（妻ハルエ六八）
二万円　東ひなば　坂元満義（妻キクエ六五）
二万円　須崎　岩元操（妻ツル子六六）
五万円　東塩入　小濱豊（夫静男八四）
五万円　向江町　松崎久子（夫貞雄八二）
五千円　西塩入上　吉村初子（長女　松山千恵四四）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　鶴原　田代礼子（夫俊夫六四）
五万円　東塩入　小濱豊（夫静男八四）

＝町老人クラブ連合会へ＝

二万円　柳田　黒田伊熊（妻スミ八〇）
二万円　辺川中　汰木綾子（夫清治七九）

▽二月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

記事訂正とおわび

二月号の記事に誤りがありました。深くおわびし次のとおり訂正します。

▽十ページ「駅伝大会」中
【区間賞】〔一般女子の部〕
誤……▽五区　小浜由紀子
正……▽五区　前田美保子

▽十ページ「歴史の旅」中
池田助右門→池田助右エ門

▽十二ページ「うぶ声」中
神宮あげみ→神宮あゆみ

空き缶はカン太郎へ